

## 北米ならびに欧州における自動車用ポリプロピレンコンパウンド事業の拡大について

住友化学は、このたび、ポリプロピレン（PP）事業のグローバル戦略の一環として、北米ならびに欧州において、自動車のバンパーなどに用いられるPPコンパウンドの生産・販売拠点を新たに設置することといたしました。

住友化学は、PPを石油化学分野のコア事業のひとつと位置づけ、かねてから積極的なグローバル展開を進めています。シンガポール、北米・テキサス州に加え、来年後半にはサウジアラビア・ラービグで生産を開始することにより、日本の千葉も含めた世界4極で、自社プロセスによる年産200万トン規模の供給体制が構築されることとなります。

PPのグローバルな供給体制を有することは、その川下製品となるPPコンパウンドにおいても、品質設計、コスト競争力、安定供給性などの戦略的展開を図る上で極めて有利であり、住友化学は、この強みを最大限に生かし、世界の主要市場におけるグローバルサプライヤーの地位を確立してまいります。PPコンパウンドについては、昨年、成長著しい中国に「珠海住化複合塑料有限公司」を設立、年産1万トンの新工場が稼働を開始し、さらに増強の計画を検討中ですが、このたび、自動車の2大生産地域である北米と欧州にも、新たな拠点を設けることとしたものです。

北米においては、住友化学は、シェブロン・フィリップス・ケミカル社との合弁会社「Phillips Sumika Polypropylene Company(フィリップス スミカ ポリプロピレン カンパニー)」を通じて長年PP事業を運営するとともに、PPコンパウンドについても、他社への委託生産方式でその販売量を順調に伸ばしています。今回の計画では、住友化学および東洋インキグループで新たに設立する合弁会社が、PPコンパウンドの新工場を建設し、北米において従来以上に高品質でコスト競争力を有する製品を拡販する体制を整えることで、さらなる事業拡大を目指します。

一方、欧州においては、これまで住友化学のPP事業の基盤は小さく、最適な事業拡大策について検討を重ねていましたが、旭化成ケミカルズ株式会社とプラネサ社（双日グループ）が運営するイギリスならびにフランスのコンパウンド事業拠点を、住友化学が、伊藤忠商事グループ、東洋インキグループとともに買収することで、このたび合意に達したものです。買収対象事業は欧州で自動車・家電を中心に幅広く事業を展開しておりますが、住友化学は、PPのグローバルな供給体制と長年蓄積した技術を武器に、これら既存ビジネスの強化を積極的に図るとともに、さらなる付加価値あるコンパウンド事業を展開していきたいと考えています。

住友化学は、顧客各社の国際展開に応じて、今後も、PPコンパウンドのグローバルな供給体制を充実させ、PP事業の高付加価値化と拡大・強化を積極的に進めていく考えです。

## < 新事業拠点の概要 >

### 1. 北米新会社の概要

- ・ 会社名 **Sumika Polymer Compounds America Inc.**  
(スミカ ポリマー コンパウンズ アメリカ社)
- ・ 本社 米国ジョージア州アトランタ近郊
- ・ 事業内容 PPコンパウンドの製造・販売
- ・ 出資比率 住友化学55%：東洋インキインターナショナル45%
- ・ 設立時期 2007年9月(予定)
- ・ 社長 未定(住友化学から派遣予定)
- ・ 生産能力 PPコンパウンド26千ト/年
- ・ 従業員数 約50名
- ・ 操業開始 2009年初(予定)

### 2. 欧州買収事業の概要

- ・ 会社名 (現社名) **AK & N (UK) Limited**  
(変更後) **Sumika Polymer Compounds Europe Limited** に商号変更予定  
(スミカ ポリマー コンパウンズ ヨーロッパ社)
- ・ 本社 英国ハーバント(英国南部ポーツマス近郊)
- ・ 事業拠点 英国(ハーバント)、フランス(アルル)
- ・ 事業内容 PPを中心とした樹脂コンパウンドの製造・販売
- ・ 出資比率  
(買収前) 旭化成ケミカルズ65%：プラネサ35%  
(買収後) 住友化学50%：伊藤忠グループ25%：東洋インキグループ25%
- ・ 社長 未定(住友化学から派遣予定)
- ・ 生産能力 英国4万ト/年、フランス2万ト/年、(計6万ト/年)
- ・ 従業員数 約165名
- ・ 売上高 約110億円/年